
超音波画像診断装置 SonoSite M シリーズの洗浄および消毒

SonoSite製品の洗浄および消毒_ユーザーガイド_P22053-01A より抜粋

CHAPTER 9

超音波画像診断装置 SonoSite M シリーズの 洗浄および消毒

はじめに	154
洗浄および消毒	155
要求される洗浄・消毒レベルの決定	155
スポルディング分類	155
本体およびプローブのハイレベル消毒（セミクリティカル用途）	156
本体およびプローブのローレベル洗浄・消毒（ノンクリティカル）	160
プローブの保管	162
プローブの持ち運び	163
適合性のある洗浄剤および消毒剤（本体およびプローブ）	164
適合性のある洗浄剤および消毒剤（アクセサリ類）	169
適合性のあるハイレベル消毒剤（プローブ）	174

本章では超音波画像診断装置 SonoSite M シリーズ（本体）、接続可能なプローブ、およびアクセサリの洗浄ならびに消毒手順についてご説明します。本体、プローブ、およびアクセサリは、当社が推奨する方法・手順で洗浄および消毒してください。尚、アクセサリの洗浄・消毒については、それぞれの製造元が特定の手順を定めている場合がありますので、製造元の取扱説明書に従ってください。

本体とプローブは検査終了時に毎回洗浄し消毒する必要があります。本書に記載の手順どおり省かずに洗浄および消毒を行うことが重要です。

プローブの外観は以下のウェブページで確認できます。

www.sonosite.com/transducers

本章には、当社が適合性試験を行い、超音波画像診断装置 SonoSite M シリーズ、接続可能なプローブ、およびアクセサリへの適合性が確認された消毒剤の一覧も記載しています。以下の表をご参照ください。

- ▶ 164 ページの表 9-2 「SonoSite M シリーズ：本体およびプローブに適合性のある洗浄剤・消毒剤」は、本体およびプローブに対する消毒剤の適合性を示しています。
- ▶ 169 ページの表 9-3 「SonoSite M シリーズ：付属するアクセサリに適合性のある洗浄・消毒」は、アクセサリに対する消毒剤の適合性を示しています。

- ▶ 174 ページの表 9-4 「SonoSite M シリーズ：プローブと適合性のあるハイレベル消毒剤」は、プローブに対するハイレベル消毒剤の適合性を示しています。

注

- ▶ 本体とプローブは検査終了時に毎回洗浄し消毒する必要があります。本書に記載の手順どおり省かずに洗浄および消毒を行うことが重要です。
- ▶ SonoSite TEEEx/8-3 プローブの洗浄および消毒方法については、「SonoSite TEEEx/8-3 プローブユーザーガイド」をご参照ください。
- ▶ SonoSite TEEExi プローブの洗浄および消毒方法については、「SonoSite TEEExi プローブユーザーガイド」をご参照ください。

はじめに

- ▶ 保護用ゴーグルや手袋等、薬剤製造元が推奨する適切な個人用保護具 (PPE) を着用してください。
- ▶ 本体およびプローブに、腐食や変色、穴、シーリング部のひび割れ等の許容できない破損がないことを確認してください。破損が明らかな場合は使用を中止し、当社または選任製造販売業者までご連絡ください。
- ▶ 使用する洗浄剤および消毒剤が貴施設において、適切であることを確認してください。洗浄剤および消毒剤に関し、当社は FUJIFILM SonoSite 超音波画像診断装置およびプローブに対し使用できることを検証しています。
- ▶ 本章に記載の消毒剤および洗浄方法は、製品に対し適合性があり、当社が推奨するものです。
- ▶ 装置およびその用途に対し、消毒剤の種類や溶液の濃度、浸漬・接触時間が適切であることを確認してください。
- ▶ 薬剤の準備、使用、および廃棄方法については、製造元の推奨事項および地域の規制を遵守してください。

警告

- ▶ 使用する洗浄液、消毒液、およびワイプスの期限が切れていないことを確認してください。
- ▶ 洗浄剤および消毒剤の中には、個人によってはアレルギー反応を誘発するものもあります。

注意

- ▶ 本体のコネクタ接続部またはプローブコネクタに洗浄剤または消毒剤が浸入しないようにしてください。
- ▶ 表面を損傷する恐れがあるため、シンナーやベンジン等の強溶剤や研磨性クリーナーは使用しないでください。当社が推奨する洗浄剤または消毒剤のみを使用してください。

洗浄および消毒

要求される洗浄・消毒レベルの決定

警告

本章に記載の洗浄手順は、米国食品医薬品局（FDA）が義務づけている要求事項です。所定の手順どおりに洗浄しないと、相互汚染や患者感染が発生する恐れがあります。

必要な洗浄・消毒レベルは検査中に接触する組織の種類によって異なります。表 9-1 「洗浄および消毒方法の選択」を参照し、要求される洗浄・消毒レベルを決定してください。

表 9-1: 洗浄および消毒方法の選択

本体またはプローブのいかなる部分でも、損傷皮膚、血液、粘膜、または体液に接触しましたか。			
はい	損傷皮膚、血液、粘膜または体液と接触した	➔	Option (A) 156 ページの「本体およびプローブのハイレベル消毒（セミクリティカル用途）」を参照してください。
または			
いいえ	損傷皮膚、血液、または体液とは接触しなかった	➔	Option (B) 160 ページの「本体およびプローブのローレベル洗浄・消毒（ノンクリティカル）」を参照してください。

スポルディング分類

スポルディング分類（ノンクリティカル、セミクリティカル）は、医療機器の使用方法ならびに感染リスクに基づき、洗浄および消毒の方法を決定する指針です。本体およびプローブは、スポルディング分類の内、ノンクリティカルおよびセミクリティカルの用途で使用されることを意図して設計されています。

Option **A**

本体およびプローブのハイレベル消毒 (セミクリティカル用途)

本体またはプローブが血液、損傷皮膚、粘膜または体液に接触した場合には、以下の手順で洗浄し、ハイレベル消毒を行ってください。

洗浄剤および消毒剤の使用にあたっては、それぞれの製造元の取扱説明書に従ってください。以下の手順内に列記されている洗浄剤および消毒剤は、本体およびプローブに対し、化学的適合性が認められたものです。これらの洗浄剤および消毒剤の使用が貴施設において適切であることを確認してください。

警告

- ▶ 感電を防止するため、洗浄する前に本体から AC 電源アダプタを取り外してください。
- ▶ 保護用ゴーグルや手袋等、薬剤製造元が推奨する適切な個人用保護具 (PPE) を着用してください。

注意

- ▶ 洗浄および消毒の工程は、いかなる手順も一切省いたり短縮したりしないでください。
- ▶ 洗浄剤や消毒剤を本体の表面や本体コネクタ接続部、プローブコネクタに直接吹き付けしないでください。液体が内部に浸入し、損傷の原因となり、保証が無効になる恐れがあります。
- ▶ 本章に記載されている以外の方法または薬剤を使用して、プローブやプローブケーブルを消毒しないでください。プローブの損傷の原因になり、保証が無効になる恐れがあります。
- ▶ 当社が推奨する洗浄剤および消毒剤のみを使用してください。推奨されていない消毒溶液や不適切な濃度で使用すると本体およびプローブを損傷し、保証が無効になる恐れがあります。溶液濃度に関しては、製造元の推奨事項を遵守してください。

注

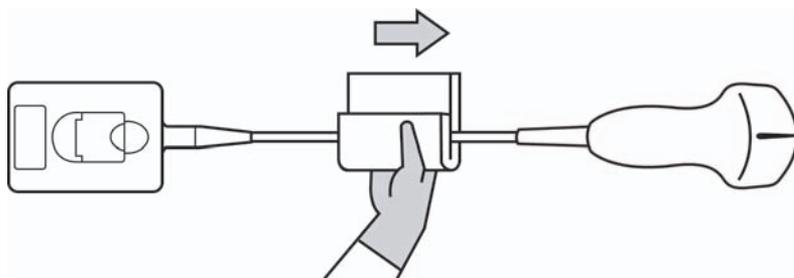
- ▶ 本体とプローブは検査終了時に毎回洗浄し消毒する必要があります。ハイレベル消毒ができるのはプローブのみです。
- ▶ 洗浄および消毒にあたっては、バッテリーはアクセサリではなく本体の一部と見なします。洗浄および消毒にあたっては、バッテリーはアクセサリではなく本体の一部と見なします。

本体およびプローブの洗浄・消毒 (セミクリティカル)

本体およびプローブを洗浄・消毒する

- 1 電源ボタンを押し、本体の電源をオフにする。

- 2 電源ケーブルをコンセントから抜きます。
- 3 使用されている場合は、プローブカバーを取り除きます。
- 4 本体からプローブを取り外します。本体のコンソールを洗浄する間、清潔な機器や表面を相互汚染することがない場所に一時的に置きます。
- 5 以下の手順に従い、本体の外表面を洗浄し、付着物や体液を完全除去します。
 - a ウェットタイプのワイプスまたは洗浄液もしくは消毒液を含浸させた柔らかい布を使用します。洗浄剤は 164ページの表 9-2「SonoSite Mシリーズ：本体およびプローブに適合性のある洗浄剤・消毒液」から選択します。
 - b 本体から超音波ジェル、付着物、体液を完全除去します。
 - c 新しいワイプスを使用して、モニタ部分も含め、本体全体を清潔な部分から汚染された部分に向けて清拭して洗浄します。この清拭方法は相互汚染を防止するのに有用です。
 - d 製造元が推奨する最低接触時間を遵守します。本体表面が濡れた状態を維持していることを確認し、乾燥した場合には必要に応じて再度清拭します。
 - e 通気の良い清潔な場所で本体を空気乾燥します。
- 6 以下の手順に従い、プローブケーブルおよびプローブ本体を洗浄し、付着物や体液を完全除去します。
 - a ウェットタイプのワイプスまたは洗浄液もしくは消毒液を含浸させた柔らかい布を使用します。洗浄剤は 164ページの表 9-2「SonoSite Mシリーズ：本体およびプローブに適合性のある洗浄剤・消毒液」から選択します。
 - b プローブから超音波ジェル、付着物、体液を完全除去します。
 - c 新しいワイプスを使用して、プローブケーブルからプローブ本体の先端に向けて清拭していきます。この清拭方法は相互汚染を防止するのに有用です。



注意

液体がプローブコネクタの電子部品に触れることがないように注意してください。

- d 製造元が推奨する最低接触時間を遵守します。プローブ表面が濡れた状態を維持していることを確認し、乾燥した場合には必要に応じてワイプスで再度清拭します。
- 7 超音波ジェル、付着物、および体液が本体およびプローブから完全除去されたことを確認します。必要に応じて、新しいワイプスを使用して上記の手順5および6を繰り返します。

警告

超音波ジェル、付着物、および体液を完全除去しないと、プローブ表面に汚染物が残留します。

- 8 消毒液を調製します。
- a 174ページの表 9-4「SonoSite Mシリーズ：プローブと適合性のあるハイレベル消毒剤」からハイレベル消毒剤を選択します。
 - b 消毒液ボトルに表示の有効期限が切れていないことを確認します。
 - c 消毒液を調製し、化学薬品として製造元が推奨する濃度に達していることを試験します。（例えば、化学薬品の試験紙法等）
 - d 消毒液の温度が、製造元が推奨する範囲内であることを確認します。
- 9 以下の手順に従って、プローブのハイレベル消毒を行います。
- a プローブをハイレベル消毒液に浸漬します。浸漬時間は、消毒剤の取扱説明書に従ってください。

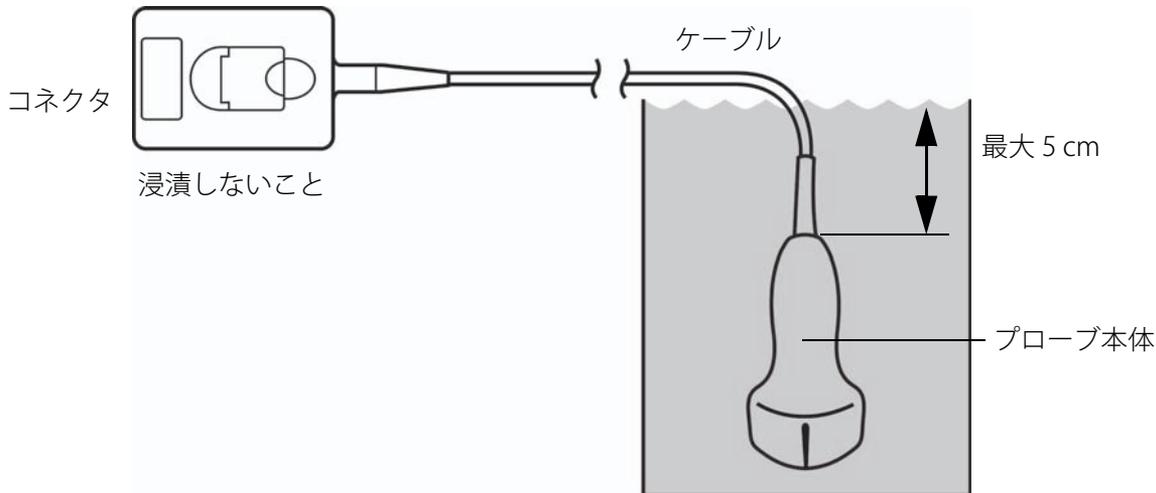
警告

ハイレベル消毒剤をプローブから完全に除去しないと、患者に負傷を負わせる恐れがあります。製造元の取扱説明書に従って、化学薬品が残留しないように洗い流してください。

注意

- ▶ 薬剤製造元が推奨する浸漬時間を超過して、プローブを浸漬しないでください。
- ▶ プローブコネクタはいかなる消毒液にも浸漬しないでください。
- ▶ 当社が推奨する消毒剤のみを使用してください。推奨してない消毒剤の使用、不適切な濃度での使用、推奨された深さや時間を超えた浸漬は、プローブの破損や変色につながり、プローブの保証を無効にする恐れがあります。

- b** プローブコネクタおよびケーブルの大部分が消毒液に浸漬していないことを確認してください。浸漬できるのはプローブ本体に結合しているケーブル部分、最高5 cmまでです。



10 以下の手順に従って、プローブを3回すすぎ洗います。

- a** 消毒剤製造元の取扱説明書に従って、清潔な流水でプローブすすぎ洗います（最低1分間）。
 - b** コネクタおよびコネクタから最低 31~46 cm の部分のケーブルは濡れることがないようにします。
 - c** 本プローブすすぎ洗いの手順を3回繰り返します。
- 11 滅菌リントフリークロス(無塵布) を使用して、プローブを乾拭きします。
- 12 消毒液は製造元のガイドラインに従って廃棄します。
- 13 プローブおよびケーブルに、液体が浸入する恐れのあるひび割れや亀裂等の損傷がないか点検します。

損傷が明らかな場合は、プローブの使用を中止し、当社または選任製造販売業者までご連絡ください。

Option **B**

本体およびプローブのローレベル洗浄・消毒（ノンクリティカル）

血液、損傷皮膚、粘膜、または体液に接触しなかった場合には、以下の手順に従って本体およびプローブを洗浄・消毒します。

警告

本体またはプローブが以下のいずれかに接触した場合には、ハイレベル洗浄および消毒の手順に従ってください。Option A、156 ページの「[本体およびプローブのハイレベル消毒（セミクリティカル用途）](#)」を参照してください。

- ▶ 血液
- ▶ 損傷皮膚
- ▶ 粘膜
- ▶ 体液

洗浄剤および消毒剤の使用にあたっては、それぞれの製造元の取扱説明書に従ってください。以下の表内に列記されている洗浄剤および消毒剤は、本体およびプローブに対する科学的適合性が確認されています。これらの洗浄剤および消毒剤の使用が貴施設において適切であることを確認してください。

警告

- ▶ 感電を防止するため、洗浄する前に本体から AC 電源アダプタを取り外してください。
- ▶ 保護用ゴーグルや手袋等、薬剤製造元が推奨する適切な個人用保護具 (PPE) を着用してください。

注意

- ▶ 洗浄剤や消毒剤を本体の表面や本体コネクタ接続部、プローブコネクタに直接吹き付けしないでください。液体が内部に浸入し、損傷の原因となり、保証が無効になる恐れがあります。
- ▶ 当社が推奨する洗浄剤および消毒剤のみを使用してください。推奨されていない消毒溶液や不適切な濃度で使用すると本体およびプローブを損傷し、保証が無効になる恐れがあります。溶液濃度に関しては、製造元の推奨事項を遵守してください。
- ▶ 本章に記載されている以外の方法または薬剤を使用して、プローブやプローブケーブルを消毒しないでください。プローブの損傷の原因になり、保証が無効になる恐れがあります。

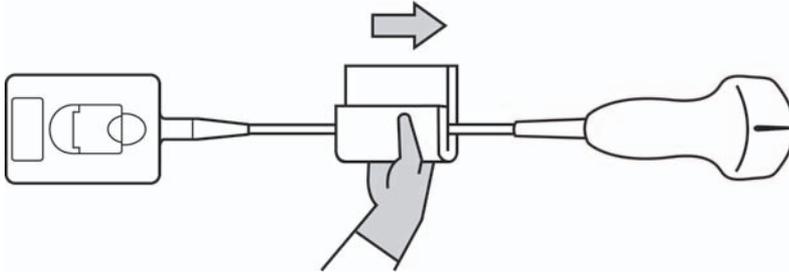
注

洗浄および消毒にあたっては、バッテリーはアクセサリではなく本体の一部と見なします。

本体およびプローブの洗浄・消毒（ノンクリティカル）

本体およびプローブを洗浄・消毒する

- 1 電源ボタンを押し、本体の電源をオフにする。
- 2 電源ケーブルをコンセントから抜きます。
- 3 使用されている場合は、プローブカバーを取り除きます。
- 4 本体からプローブを取り外します。本体を洗浄する間、清潔な機器や表面を相互汚染することがない場所に一時的に置きます。
- 5 以下の手順に従い、本体のコンソール部を洗浄し、付着物や体液を完全除去します。
 - a ウェットタイプのワイプスまたは洗浄液もしくは消毒液を含ませた柔らかい布を使用します。洗浄剤は、164ページの表 9-2「SonoSite Mシリーズ：本体およびプローブに適合性のある洗浄剤・消毒剤」から選択します。
 - b 本体から超音波ジェル、付着物、体液を完全除去します。
 - c 新しいワイプスを使用して、モニタ部分も含め、本体全体を清潔な部分から汚染された部分に向けて清拭して洗浄します。この清拭方法は相互汚染を防止するのに有用です。
 - d 製造元が推奨する最低接触時間を遵守します。本体表面が濡れた状態を維持していることを確認し、乾燥した場合には必要に応じて再度清拭します。
- 6 以下の手順に従い、プローブケーブルおよびプローブ本体を洗浄し、付着物や体液を完全除去します。
 - a ウェットタイプのワイプスまたは洗浄液もしくは消毒液を含ませた柔らかい布を使用します。洗浄剤は 164ページの表 9-2「SonoSite Mシリーズ：本体およびプローブに適合性のある洗浄剤・消毒剤」から選択します。
 - b プローブから超音波ジェル、付着物、体液を完全除去します。
 - c 新しいワイプスを使用して、プローブケーブルからプローブ本体の先端に向けて清拭していきます。この清拭方法は相互汚染を防止するのに有用です。



注意

液体がプローブコネクタの電子部品に触れることがないように注意してください。

- d 製造元が推奨する最低接触時間を遵守します。プローブ表面が濡れた状態を維持していることを確認し、乾燥した場合には必要に応じてワイプスで再度清拭します。
- 7 本体およびプローブから超音波ジェル、付着物、体液が完全除去されたことを確認します。必要に応じて、新しいワイプスを使用して手順5および6を繰り返します。
- 8 本体、コンソール、プローブを清潔な通気の良い場所で空気乾燥します。
- 9 本体、プローブ、およびケーブルに、液体が浸入する恐れのあるひび割れや亀裂等の損傷がないか点検します。

損傷が明らかな場合は、プローブの使用を中止し、当社または選任製造販売業者までご連絡ください。

プローブの保管

プローブを保管する

- 1 本章に記載の方法でプローブを洗浄および消毒されていることを確認します。
- 2 プローブはまっすぐに吊り下げて保管します。保管の際には以下の注意事項に留意してください。
 - ▶ 汚染されたプローブとは区別して接触しない場所に保管します。
 - ▶ 安全で通気の良い場所に保管します。密閉した容器や結露が発生する場所には保管しないでください。
 - ▶ 直射日光およびX線への露出を避けてください。推奨保管温度範囲は、0°C ~ +45°C です。
 - ▶ 壁取り付け式ラックを使用する場合には、以下の注意事項に留意してください。
 - ▶ しっかりと固定されていること。
 - ▶ 収納用スロットがプローブを破損したり、ケーブルを損傷しないこと。

- ▶ プローブが不注意で落下することがないように、ラックは十分な大きさで、適切な場所に取り付けられていること。
- ▶ プローブコネクタが支持され固定されていることを確認してください。

プローブの持ち運び

プローブを持ち運ぶ場合には、破損や相互汚染から保護するための予防措置を講じる必要があります。貴施設が承認した容器を必ず使用してください。

洗浄するために汚染されたプローブを持ち運ぶ

汚れたプローブ、即ち汚染されたプローブは、次の検査で使用する前に必ず洗浄しなければなりません。

- 1 プローブを清潔な承認済みの容器に入れます。

警告

相互汚染および無防備な職員が生物由来物質にさらされることを防止するため、汚染プローブを持ち運ぶための容器は、以下の図に類似した ISO 規格のバイオハザードラベルを表示してください。



注意

容器に収納する前に、プローブが乾燥していることを確認してください。濡れたまま容器に入れると結露が生じ、コネクタが損傷する恐れがあります。

- 2 容器に入れたままプローブを洗浄作業台まで運びます。洗浄準備が整うまで、容器を開けないでください。

注意

プローブは、密閉した容器の中に長期間放置しないでください。

清潔なプローブを持ち運ぶ

清潔なプローブとは、洗浄および消毒済みで、適切な方法で保管され、検査に使用できる状態のプローブです

- 1 プローブを清潔な承認済みの容器に入れます。清潔なプローブであることを識別するために、容器には、プローブが清潔であることを示す検証シールまたは証明書を表示してください。
- 2 容器に入れたまま清潔なプローブを検査室まで運びます。使用準備が整うまで、容器を開けないでください。

プローブを輸送する

警告

汚染プローブの輸送は極力避けてください。輸送前に、必ず本章に記載の手順、または当社の指示に従ってプローブが洗浄および消毒してください。プローブを当社へ返却する際は、「Declaration of Cleanliness (清浄宣言書)」に消毒済みであることを記録し、梱包明細書に添付してください。

- 1 プローブを輸送用ケースに収納し封をします。プローブのいかなる部分もケースからはみ出ないようにしてください。
- 2 以下の注意事項を守って、プローブを輸送してください。
 - ▶ 取扱注意であることを、輸送用ケース上に明確に表示してください。
 - ▶ 輸送用ケースの上に物を積み重ねないでください。
 - ▶ 輸送時の温度条件を超えないでください：-35 °C ~ +65 °C
 - ▶ 輸送中に輸送用ケースを開けないでください。
 - ▶ 受け取ったプローブは検査に使用する前に、洗浄および消毒しなければなりません。

適合性のある洗浄剤および消毒剤 (本体およびプローブ)

表 9-2: SonoSite M シリーズ：本体およびプローブに適合性のある洗浄剤・消毒剤

消毒剤	SonoSite M シリーズ本体	H-ユニバーサルスタンド	C8x	C11x	C60x	C60xi	HFL38x	HFL50x	ICTx	L25x	L38x	L38xi	L52x	P10x	P11x	P21x	SLAX
Accel Intervention Wipes													✓				
Accel Prevention Wipes																	
Accel TB Wipes	✓	✓															
Airkem A-33	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

表 9-2: SonoSite M シリーズ：本体およびプローブに適合性のある洗浄剤・消毒剤

消毒剤	SonoSite M シリーズ本体	H- ユニバーサルスタンド	C8x	C11x	C60x	C60xi	HFL38x	HFL50x	ICTx	L25x	L38x	L38xi	L52x	P10x	P11x	P21x	SLAx
Alcohol-Ethanol		✓				✓		✓		✓			✓				
Anios Wipes	✓	✓						✓					✓				
Aniosyme DD1-5%	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Anioxide 1000		✓															
Anioxy-Twin																	
Asepti HB	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Asepti Steryl																	
Asepti Wipe II		✓															
Bacoban	✓																
Bacoban WB	✓																
Baxedin Pre-Op			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Carpe Diem TB Wipes								✓									
Caviwipes		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Cidalkan															✓		
Cidalkan Lingettes		✓													✓		
Cleanisept Wipes	✓																

表 9-2: SonoSite M シリーズ：本体およびプローブに適合性のある洗浄剤・消毒剤

消毒剤	SonoSite M シリーズ本体	H-ユニバーサルスタンド	C8x	C11x	C60x	C60xi	HFL38x	HFL50x	ICTx	L25x	L38x	L38xi	L52x	P10x	P11x	P21x	SLAX
Clinell Universal Sanitising Wipes		✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓
Clorox Germicidal Wipes			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓		✓	✓
Clorox Hydrogen Peroxide Wipes		✓															
Control III		✓													✓		
Coverage Germicidal Surface Wipes		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Coverage Plus Germicidal Surface Wipes			✓		✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Coverage Spray		✓				✓											
Coverage Spray TB	✓		✓		✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓		✓		✓	✓
DisCide Ultra Disinfecting Towelettes															✓		
Dynacide PA	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓
Echo Clean lingettes	✓							✓					✓				
End Bac II								✓					✓				
Endosporine	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓

表 9-2: SonoSite M シリーズ：本体およびプローブに適合性のある洗浄剤・消毒剤

消毒剤	SonoSite M シリーズ本体	H-ユニバーサルスタンド	C8x	C11x	C60x	C60xi	HFL38x	HFL50x	ICTx	L25x	L38x	L38xi	L52x	P10x	P11x	P21x	SLAx
Envirocide		✓				✓											
Gluco Chlor Wipes			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
Hydrogen Peroxide 3%	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Incidin Plus 1%		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Incidin Plus 3%		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Madacide-1			✓		✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓		✓	✓
Medzyme	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
MetriSponge			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
MetriZyme															✓		
Mikrobac Forte 2%		✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Mikrobac Tissues		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Oxivir TB Wipes								✓									
Percept RTU Wipes	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
PI-Spray		✓			✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓		✓	✓
PI-Spray II	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Protex Spray	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓

表 9-2: SonoSite M シリーズ：本体およびプローブに適合性のある洗浄剤・消毒剤

消毒剤	SonoSite M シリーズ本体	H-ユニバーサルスタンド	C8x	C11x	C60x	C60xi	HFL38x	HFL50x	ICTx	L25x	L38x	L38xi	L52x	P10x	P11x	P21x	SLAX
Protex Wipes	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Rely+On Perasafe		✓											✓		✓		
Sani-Cloth AF		✓						✓					✓				
Sani-Cloth AF3		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓
Sani-Cloth Bleach Wipes			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Sani-Cloth HB	✓		✓		✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Sani-Cloth Plus	✓	✓						✓									
Simple Chlor	✓														✓		
Staphene								✓					✓				
Steranios 2%	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Steranios 20%		✓															
Trigene Advance Wipes			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Tristel Solo		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Tristel Wipes	✓														✓		
Virex II 256		✓		✓		✓		✓		✓			✓		✓		
Virex TB		✓				✓		✓					✓				

表 9-2: SonoSite M シリーズ：本体およびプローブに適合性のある洗浄剤・消毒剤

消毒剤	SonoSite M シリーズ本体	H-ユニバーサルスタンド	C8x	C11x	C60x	C60xi	HFL38x	HFL50x	ICTx	L25x	L38x	L38xi	L52x	P10x	P11x	P21x	SLAx
Virox 5 RTU Wipes		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Wet Task Wipes	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
Wex-Cide	✓	✓													✓		
Wipes Plus Disinfecting Wipes	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
Wood Wyant Ultra Wipes		✓													✓		

適合性のある洗浄剤および消毒剤 (アクセサリ類)

表 9-3: SonoSite M シリーズ：付属するアクセサリに適合性のある洗浄・消毒

消毒剤	トリプルプローブコネクタ	フットスイッチ	大容量バッテリー	パワーパーク	AC 電源アダプタ	ECG ケーブル	ミニドック
Accel Intervention Wipes	✓						
Accel TB Wipes	✓			✓			
Airkem A-33	✓	✓	✓	✓			✓

表 9-3: SonoSite M シリーズ：付属するアクセサリに適合性のある洗浄・消毒

消毒剤	トリプルプロブコネクタ	フットスイッチ	大容量バッテリー	パワーパーク	AC 電源アダプタ	ECG ケーブル	ミニドック
Alcohol-Ethanol	✓						
Alcohol - Isopropyl	✓		✓			✓	
Anios Wipes	✓	✓	✓	✓			✓
Aniosyme DD1- 5%	✓	✓	✓	✓			✓
Anioxide 1000	✓	✓	✓	✓			✓
Asepti HB	✓	✓	✓	✓		✓	✓
Asepti Steryl	✓	✓	✓				✓
Asepti Wipe II	✓	✓	✓	✓			✓
Baxedin Pre-Op	✓		✓				✓
Carpe Diem TB Wipes			✓				
Caviwipes	✓	✓	✓	✓		✓	✓
Cidalkan	✓	✓	✓				✓
Cidalkan Lingettes	✓	✓					✓
Clinell Universal Sanitising Wipes	✓	✓	✓	✓			✓
Clorox Germicidal Wipes		✓	✓				✓

表 9-3: SonoSite M シリーズ：付属するアクセサリに適合性のある洗浄・消毒

消毒剤	トリプルプローブコネクタ	フットスイッチ	大容量バッテリー	パワーパーク	AC 電源アダプタ	ECG ケーブル	ミニドック
Clorox Hydrogen Peroxide Wipes	✓	✓	✓	✓			✓
Control III	✓	✓	✓	✓			✓
Coverage Germicidal Surface Wipes	✓	✓	✓				
Coverage Plus Germicidal Surface Wipes	✓	✓	✓				✓
Coverage Spray	✓		✓				✓
Coverage Spray TB	✓		✓				✓
DisCide Ultra Disinfecting Towlettes	✓	✓	✓				✓
Dynacide PA	✓	✓	✓	✓			✓
Echo Clean lingettes	✓	✓	✓	✓		✓	✓
End Bac II	✓	✓	✓				✓
Endosporine	✓	✓	✓	✓			✓
Envirocide	✓	✓	✓	✓			✓
Gluco Chlor Wipes		✓					✓
Hydrogen Peroxide 3%	✓	✓	✓	✓		✓	✓

表 9-3: SonoSite M シリーズ：付属するアクセサリに適合性のある洗浄・消毒

消毒剤	トリプルプロブコネクタ	フットスイッチ	大容量バッテリー	パワーパーク	AC 電源アダプタ	ECG ケーブル	ミニドック
Incidin Plus 1%	✓	✓	✓	✓			✓
Incidin Plus 3%	✓	✓	✓	✓			✓
Medzyme	✓	✓	✓	✓			✓
Mikrobac Forte 2%	✓	✓	✓	✓			
Mikrobac Tissues	✓		✓	✓			✓
Oxivir TB Wipes	✓		✓				✓
Percept RTU Wipes		✓	✓	✓			✓
PI-Spray	✓	✓	✓				✓
PI-Spray II	✓	✓	✓	✓			✓
Protex Spray	✓		✓	✓			
Protex Wipes	✓	✓	✓	✓			
Rely+On Perasafe	✓	✓	✓	✓			✓
Sani-Cloth AF	✓		✓	✓			
Sani-Cloth AF3		✓		✓			
Sani-Cloth Bleach Wipes	✓	✓	✓				✓

表 9-3: SonoSite M シリーズ：付属するアクセサリに適合性のある洗浄・消毒

消毒剤	トリプルプローブコネクタ	フットスイッチ	大容量バッテリー	パワーパーク	AC 電源アダプタ	ECG ケーブル	ミニドック
Sani-Cloth HB	✓	✓	✓			✓	✓
Sani-Cloth Plus	✓		✓	✓		✓	✓
Simple Chlor	✓		✓	✓		✓	
Staphene	✓	✓	✓				
Steranios 2%	✓	✓	✓	✓		✓	✓
Steranios 20%	✓	✓	✓	✓			✓
Super Sani-Cloth	✓	✓	✓	✓			✓
Trigene Advance Wipes	✓	✓	✓				✓
Tristel Solo	✓	✓	✓	✓			✓
Tristel Wipes	✓	✓	✓				✓
Virex II 256	✓		✓			✓	
Virex TB		✓	✓				✓
Virox 5 RTU Wipes	✓		✓	✓		✓	
Wet Task Wipes	✓	✓	✓				✓
Wex-Cide	✓		✓	✓			✓

表 9-3: SonoSite M シリーズ：付属するアクセサリに適合性のある洗浄・消毒

消毒剤	トリプルプローブコネクタ	フットスイッチ	大容量バッテリー	パワーパーク	AC 電源アダプタ	ECG ケーブル	ミニドック
Wipes Plus Disinfecting Wipes		✓	✓	✓			✓
Wood Wyant Ultra Wipes	✓						✓

適合性のあるハイレベル消毒剤 (プローブ)

表 9-4: SonoSite M シリーズ：プローブと適合性のあるハイレベル消毒剤

ハイレベル消毒剤	C11x	C60x	C60xi	C8x	HFL38x	HFL50x	ICTx	L25x	L38x	L38xi	L52x	P10x	P11x	P21x	SLAx
Cidex	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓		✓	✓
Cidex OPA	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
Metricide OPA Plus	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
Nanosonics Trophon EPR	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓		✓	✓
Revital-Ox Resert HLD													✓		
Cidex Plus	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓